

九州工業大学テニュアトラック教員公募要領

本募集は文部科学省「テニュアトラック普及・定着事業」の一環として実施するものである。

所属組織：九州工業大学 若手研究者フロンティア研究アカデミー

専門分野：機械、電気・電子、物質・材料、情報（生命情報を含む）、学際・融合領域の5分野

募集人員：2名（テニュアトラック助教1名、及びテニュアトラック准教授1名の予定）

着任時期：2011年12月1日以降のできるだけ早い時期

担当業務：別紙記載の、「テニュアトラック教員に対する大学としての支援体制」の下に、高いレベルの研究を実施する。教育経験を積むため採用4年目以降は大学院講義を1科目程度担当する。また希望により大学院生の研究指導を担当可

応募資格：博士号取得後10年以内

選考方法：書類審査及び複数の上位候補者に対して面接を行う。学外者（複数）にも選考委員を委嘱しピアレビューを実施するなど、客観的で透明性の高い選考を行う。

任期：5年、ただし2013年度後半に中間評価を行い、2015年度の早い時期にテニュア審査を行う。

テニュア審査基準：

1. 研究業績が一般教員の上位16%程度以内（職階別）に相当し、国内外の学会で認知された研究者であること。研究業績の評価は論文数だけでなく、被引用数などの国際的基準によるものとする。なお、研究分野の特性による差異は考慮する。
2. 十分な研究資金を競争的外部資金により調達できること。

テニュアポスト：助教1名、准教授1名を用意しているが、業績によっては上位職位も可

応募締切：2011年10月31日（月）

書類送付先：〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1

国立大学法人 九州工業大学 若手研究者フロンティア研究アカデミー

封筒に、「テニュアトラック教員応募書類」と朱書きし、書留郵便で郵送すること。

応募書類：

- 1) 履歴書
- 2) 著書、論文、特別講演・招待講演、特許等、学会活動、国際活動、その他
なお、Web of Science が利用可能な応募者は、論文毎に WoS における被引用数（citation）を記載のこと
- 3) 競争的研究資金
年度、研究テーマ、資金名称、代表者・分担者の別、金額
- 4) 主要論文（3件以内）の別刷またはそのコピー
- 5) これまでの研究経過と着任後の研究計画（A4用紙1枚）
- 6) 推薦書、あるいは応募者に関する意見を聞くことのできる研究者3名以内の氏名と連絡先

問合せ先：若手研究者フロンティア研究アカデミー長 鹿毛浩之

電話：093-884-3013, 電子メール：ttacademy@jimu.kyutech.ac.jp

テニュアトラック教員に対する大学としての支援体制

1. スタートアップ研究資金

初年度 1000万円、2年目 500万円

3年目以降は他の教員と同額の研究費を配分する。併せて競争的外部資金獲得を支援する。

2. 研究スペース

一人あたり80㎡を提供

3. 利用可能共通機器

計算機・インターネット環境、機器分析センター保有の各種分析装置、マイクロ化総合技術センター保有の半導体LSIの設計・デバイス製造装置、先端金型センター保有の各種工作機械、電子ビーム鏡面加工機等

4. 人的な研究支援

テニュアトラック教員あたり2～3名のメンター（内1名はテニュアトラック教員が指名可）が、研究上の助言の他、外部資金獲得、産学連携、特許申請、チームマネジメント、研究室マネジメント、学会活動などのノウハウを提供する。産学連携推進センターや学内各種重点プロジェクト研究センターでの見学・研修等の機会も十分に提供する。また採用初年度にテニュアトラック教員とメンターの相談により国内外のアカデミックアドバイザーを選任し、先方の了解の下に、訪問あるいは招聘の形での交流を定期的を実施する。さらにテニュアトラック支援室の事務職員の支援により、研究に専念できる環境を提供する。

5. 女性研究者に対する支援

出産・育児休業期間はライフイベントとしてその期間を雇用延長する。既に自宅でも大学の研究室と同等のデジタル環境が利用可能であるが、新たにメンターとの議論や文献検索・論文投稿等を支援するシステムを構築し、研究水準の維持を図る。育児支援では、キャンパス内職員宿舎の優先入居やキャンパスに隣接あるいは近在する保育所を斡旋する。

6. 外国人研究者に対する支援

キャンパス内職員宿舎への優先入居だけでなく、テニュアトラック支援室の事務職員等により生活上の助言や支援を行う。